

平成 26 年 10 月 11 日
関西WMG2021 事務局

関西ワールドマスタースゲームズ 2021 について

競技種目及び開催府県市については、当初 IMG A から今年末に予定する契約締結時に大会の大枠を示すことを求められていたため、それに基づくスケジュール(案)を立てていましたが、常任委員会でのご指導等を踏まえ、8月中旬に再度 IMG A と協議をした結果、2017 年 4 月のオークランド大会までに決定することで了解を得ました。

このことから、オークランド大会で大々的に関西大会を PR するために、同大会の半年前の 2016 年 10 月までに、競技種目及び開催府県市を決定すべく、次のとおり、今後の進め方について事務局案をお示しします。

I 実施予定競技種目及び開催府県市の検討・決定の進め方(案)について

1 実施競技の区分について

(1) コア競技：IMG A が指定する競技(16 競技)

(アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、カヌー、自転車競技、ホッケー、サッカー、オリエンテーリング、ボート競技、射撃、ソフトボール、スカッシュ、卓球、トライアスロン、ウエイトリフティング)

(2) オプション競技：IMG A が承認する競技(14 競技)

過去の開催状況を鑑み、(公財)日本体育協会加盟競技団体又は(公財)日本オリンピック委員会加盟競技団体の競技とし、開催府県市の体育協会に加盟している競技団体の競技とする。

(3) オープン競技

コア競技(種目を含む)又はオプション競技(種目を含む)として選択されない競技で国内のスポーツの振興及び普及の観点から、(公財)日本体育協会加盟競技団体又は(公財)日本オリンピック委員会加盟競技団体の競技とし、開催府県市の体育協会に加盟している競技団体の競技とする。

競技別大会記録は、IMG A 参考記録となる。メダルについては、公式メダルの対象外。

(4) デモンストレーション競技

コア競技、オプション競技又はオープン競技として選択されない競技で、開催府県市の体育協会に加盟している競技団体の競技又は同協会が推薦するスポーツレクリエーション団体等の競技とする。

2 競技種目の実施主体の考え方について

競技会の開催は、府県市ごとに設置する実行委員会が主管する。

【参考】組織委員会、実行委員会が分担する主な業務

関西ワールドマスタースゲームズ 2021 組織委員会	府県市ごとに設置する実行委員会
ア 大会全体の運営調整 イ 開・閉会式の実施 ウ 大会全体の広報 エ 参加登録、参加料徴収 オ 広域交通対策 カ 大会関連商品の作成、販売 キ 大会記録の作成 ク 大会全体の救護、消防、警備の調整等	ア 競技会の実施 イ 競技会の広報 ウ 救護、消防、警備の対応 等

3 競技大会の経費負担に関する事務局としての考え方について

- (1) 組織委員会及び実行委員会は、上記の業務分担に沿って経費負担する。
- (2) コア競技、オプション競技及びオープン競技には、一定の基準により算出した額を組織委員会から交付する。(デモンストレーション競技は、この限りではない。)

4 競技種目及び開催地の決定スケジュール

(1) 2015 年 1 月

実施予定競技選択基本方針、実施予定競技選択基準、開催地選択基本方針、開催地選択基準、開催経費分配方針等を決定する。

その際、コア競技については、実施競技種目として決定し、各府県市において開催に向けて検討に入る。コア競技以外の競技種目候補案について提示する。

(2) 2015 年 7 月 (※)

開催を希望する府県市は、幅広く意見を集約し、競技種目及び会場地について組織委員会に申し出る。

(3) 2015 年 10 月 (※)

実施競技の競技種目の区分（オプション競技、オープン競技、デモンストレーション競技）を示した実施予定競技種目案を決定する。

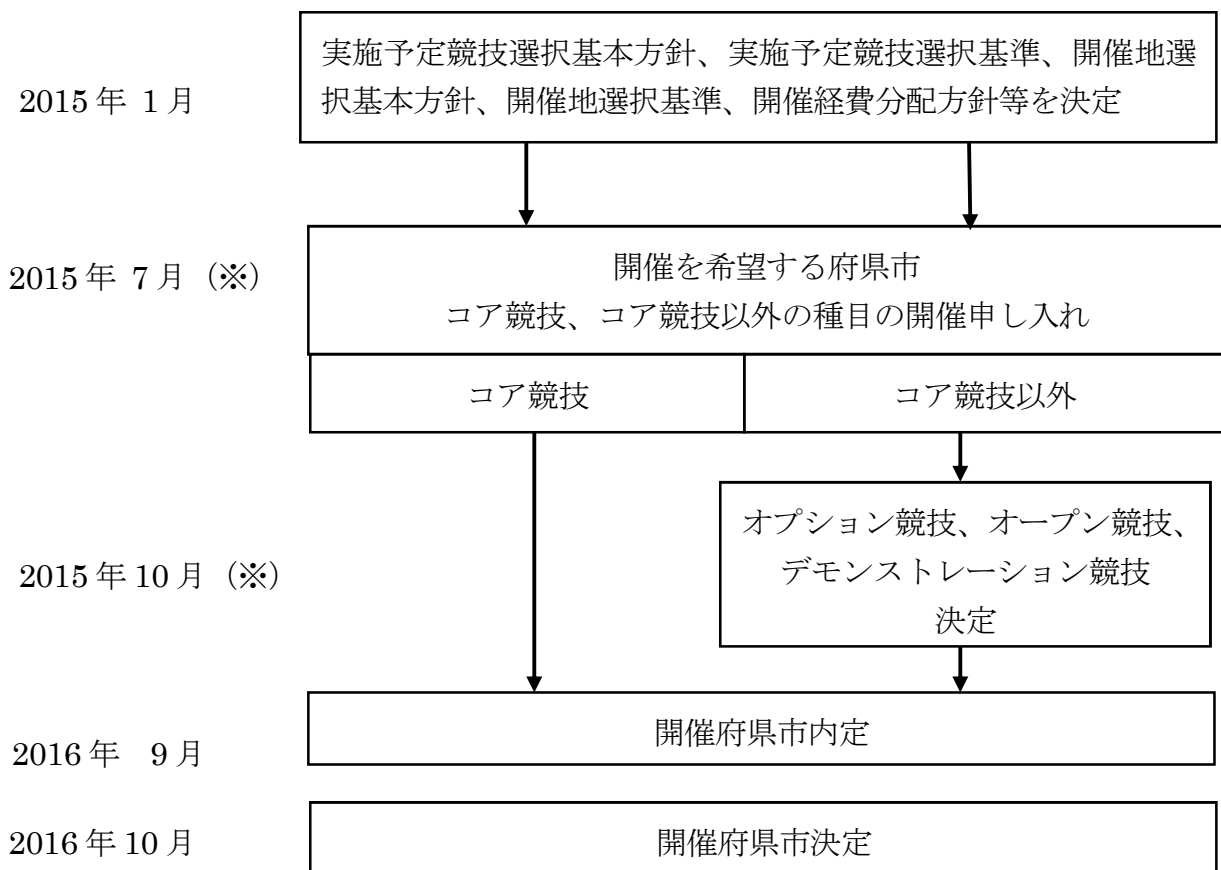
(4) 2016 年 9 月

専門委員会において開催地を審議し、開催府県市を内定する。

(5) 2016 年 10 月

内定の結果を受け、組織委員会で決定する。

(注) 上記に定める以外の事案等については、別途、協議することとする。



Ⅱ 組織委員会の設置方針について（案）

1 基本的な考え方

2021 年の大会開催を成功に導くため、一般財団法人として設立する組織委員会において名誉会長や顧問、参与等を設置し、大会開催の支援を得るとともに、開催意義を広く全国に発信する。

また、大会準備や実施に関する重要事項を決定するため、現行の準備委員会メンバーに加え、開催競技団体関係者や関連業界関係者を加えた常任委員会を設置する。

さらに、各府県市にゆかりのあるタレント・オリンピック等をメンバーとするスペシャルアドバイザーや応援大使を設置し、その高い知名度の情報発信力を活用し、大会PR等を推進する。関西広域連合議会の正副議長には、一般財団法人の理事への就任をお願いしたい。

2 組織委員会設立関係スケジュール

【10 月】

10 月 7 日	第 4 回準備委員会等で協議
下旬	各関係機関候補者から組織委員会への参画及び役員の就任承諾完了

【11 月】

上旬	大阪法務局へ設立認可申請
下旬	一般財団法人設立認可

【参 考】

1 これまでの経緯

- ・平成 24 年 10 月 I M G A のカイ ホルム会長から井戸関西広域連合長あての書簡を発出。
- ・平成 25 年 4 月 25 日 広域連合委員会において、① 7 月末までに開催提案書草稿を提出すること、② 8 月のトリノ大会に視察団を派遣すること、等を内容とする返書の発出を合意。
- ・平成 25 年 5 月 11 日 第 14 回総務常任委員会において、① 2021 年ワールドマスターズゲームズの関西招致について検討を進めること、② 8 月に開催されるトリノ大会に視察団を派遣すること、を報告。
- ・平成 25 年 7 月 31 日
～ 8 月 5 日 平井、門川両委員を団長とするトリノ大会視察団を派遣し、大会等の状況を調査するとともに、カイ ホルム会長と面談。
- ・平成 25 年 8 月 9 日 第 15 回総務常任委員会において、① I M G A に開催提案書草稿及び広域連合長書簡を提出したこと、② トリノ大会の視察概要、③ 関西版マスターズの検討、について報告。
- ・平成 25 年 8 月 29 日 広域連合委員会において、① 関西広域連合として 2021 年大会の関西開催を目指すこと、② 関西版マスターズ大会を創設すること、③ 官民連携の準備組織を立ち上げること、を合意。
- ・平成 25 年 8 月 29 日 広域連合議会 8 月定例会において井戸連合長より、同日に開催された連合委員会での合意内容や、関西開催の意義等について説明。組織体制や費用対効果、広域連合規約との関係等について質疑応答。
- ・平成 25 年 9 月 26 日 関西ワールドマスターズゲームズ 2021 準備委員会設立。
第 1 回準備委員会開催。
開催申し入れ書及び収支計画書を I M G A へ発出。
- ・平成 25 年 11 月 6 日
～ 13 日 I M G A による査察を受入れ。
- ・平成 25 年 11 月 9 日 第 17 回総務常任委員会において、これまでの経緯や当面の取組について説明。広域連合としての関与や今後の収支計画、広域連合議会との関係等について意見。

- ・平成 25 年 11 月 10 日 基本合意書調印。
- ・平成 25 年 11 月 21 日 広域連合議会 11 月臨時会において井戸連合長より、関西開催が正式に決定したことや、I M G A と基本合意書を締結したことを報告。組織委員会のあり方や広域連合としての関与、開催府県市の負担や東京オリンピック・パラリンピックとの連携、関西での生涯スポーツの普及促進等について質疑応答。
- ・平成 26 年 2 月 8 日 第 19 回総務常任委員会において状況報告。参加人数や I M G A への負担金、収支計画及び関西版マスターズ等について質疑応答。
- ・平成 26 年 3 月 1 日 広域連合議会 3 月定例会において、参加団体、負担金の考え方、経済波及効果、関西広域連合とワールドマスターズ 2021 準備委員会事務局との関係等について質疑応答。「関西ワールドマスターズゲームズ 2021 に関する決議」を採択。
- ・平成 26 年 3 月 25 日 第 2 回準備委員会において、平成 26 年度の収支予算、事業計画等について承認。開催競技・種別等の検討、開催地契約書の検討等について協議。
- ・平成 26 年 4 月 1 日 準備委員会の専任事務局を設置。
- ・平成 26 年 6 月 21 日 第 20 回総務常任委員会において、開催競技種目、開催地契約書、組織委員会設立の検討状況や、関西マスターズスポーツフェスティバルの開催について説明。競技種目の選定方法等について質疑応答。
- ・平成 26 年 8 月 8 日 第 21 回総務常任委員会において、競技種目及び会場の検討、組織委員会の設置方針、中央競技団体説明会の開催結果等について説明。競技種目の選定やその決定スケジュール等について質疑応答。
今後、現在の取組状況につき、事務局から各府県市を個別に訪問し説明することとする。
- ・平成 26 年 8 月 28 日 広域連合議会 8 月定例会において、地域の特色を生かした競技種目の採択や、関西全体に効果が波及する仕組み等について質疑応答。

- ・平成 26 年 9 月下旬～10 月上旬

8 月の常任委員会の経緯や I M G A との交渉結果を踏まえ、実施予定競技種目及び開催府県市の検討・決定の進め方、組織委員会の設置方針等について、各府県市を順次訪問し、総務常任委員に現在の取組状況を説明。